YOUR PIPELINE TO CNC MACHINES.

2026年10月	**青 空 機 械 新 聞** **業界ニュースとトレンド紹介**	発　行 第44号

日本国内受注数字

日本工作機械工業会が発表した2026年７月の国内工作機械受注(内需)は、前年同月比50.2%増の532億3700万円となりました。2カ月連続で500億円の大台を堂々突破し、7カ月連続の増加を記録しています。これほど強固な回復が続く背景には、世界的なデジタル化に伴う半導体製造装置やデータセンター、さらには発電関連といったインフラ需要の旺盛な拡大があります。特に顕著な伸びを見せているのが「電気機械」や「一般機械」の分野です。サーバー向けの予備電源や冷却関連デバイス、半導体製造装置の部品加工に関する積極的な引き合いが随所で活発化しており、電気機械の受注は前年比で実に約３倍近くまで急増しました。また「自動車」向けも前月比では減少したものの93億円を確保。部品加工現場を中心とした老朽機の更新需要に支えられ、依然として高い投資意欲が維持されています。

こうしたインフラ特需への対応や、全業種で深刻化する労働力不足を補うため、現場では自動化や省力化を見据えた最先端の設備更新が急速に進んでいます。この国内における旺盛な内需の拡大トレンドは、単なる一時的な回復局面ではなく、人員不足を補うための生産体制への大変革を強力に裏付ける重要な動きと言えそうです。

発行元 会社概要
会社名：株式会社青空機械 (あおぞらきかい)
代表者：青木 佑典(あおき ゆうすけ)
主な事業内容：工作機械販売
住所：新潟県新潟市東区中山4-4-13-3
TEL：070-8303-6632
FAX：050-3588-8241
E-mail：aoki@bsmt.co.jp

米国5連続5億ドル！インフラ特需！！



米国製造技術協会(AMT)によると、2026年7月の米国の工作機械受注額は$605.8million(約960億円)に達しました。これで5カ月連続の5億ドル突破となり、統計開始以来2回目の高水準を維持しています。これほど堅調な設備投資が続く背景には、電力網の強化に伴う強烈なインフラ需要と、深刻な人手不足への具体的な解決策があります。特に動いているのが「電気機器メーカー」と「ジョブショップ(鉄工所)」です。米国ではここ2年、電力網への負荷増大から発電機やタービンなどのインフラ投資が平均を大きく上回っていましたが、7月はさらにその電力を各家庭や工場へ届けるための「配電・家庭用電気設備」のメーカーが今年最高の投資を見せています。このインフラ特需による大量の仕事を受け皿となる町工場が飲み込んでおり、バックオーダーをこなすための機械注文が続いています。

さらに購入されている機械の中身を見ると、単なる「台数の買い増し」ではなく、ロボット無人運転や複合加工に対応した「自動化システム付きのハイエンド機」への一点集中が目立ちます。作業員不足を省力化設備で補う動きが下請け現場の主流となっており、このシステム全体の複雑化が受注金額を大きく押し上げています。米国市場では今、人員不足を前提とした持続可能な生産体制へのシフトが確実に進んでおり、この自動化への大変革は今後の日本の加工現場にとっても見逃せない重要な先行指標と言えそうです。(AMTレポートより)

9月下請け動向！半導体・インフラ特需

2026年9月の国内下請け加工の現場では、秋の増産期に向けて半導体製造装置や重電インフラ、建機部品の具体的な加工案件が現場の稼働率を限界まで押し上げています。特に半導体分野では、最先端データセンター向けの需要が衰えを知らず、装置の心臓部にあたる真空チャンバーや精密ステージの「アルミブロックからの高速・高精度な削り出し」案件が町工場へ集中しています。さらに、ガスや薬液を制御するバルブブロックやマニホールドなど、SUS316Lをはじめとする難削材への精密深穴あけ加工や内面研磨(鏡面仕上げ)の引き合いが溢れかえっており、下請け現場の生産ラインを完全に埋め尽くしています。

また、秋以降の電力需要や再エネ・送配電網の強化を背景とした「重電案件」も、厚物加工や大型製缶加工を得意とする鉄工所の大きな柱となっています。変電所向けの大容量トランス(変圧器)に使用される頑丈な鉄製筐体のレーザー切断やプレス加工、強度が求められる厚板の多層盛り溶接案件が、大手電機メーカーから非常に安定したボリュームで流れています。これに伴い、高電流を流すための「厚物銅帯(ブスバー)」の精密な切断、R曲げ、ねじ切りといった加工ラインも、電気を通す大型金属パーツの特需によって数ヶ月先までバックオーダーを抱える状況です。

建設機械分野においては、北米や新興国向けの大型油圧ショベルの輸出が堅調を維持しており、フロント部のアームやブームの開先加工や，大型構造物のロボット溶接が活発です。さらに足回りのキャタピラを支えるピンやローラー、ブッシュといった「丸棒からの旋盤削り出し・高周波焼入れ」を伴う部品加工も、まとまった量産ロットでの注文が続いており、下請けの現場を力強く支えています。

このように現在の加工現場で動いているのは、単純な薄板量産品ではなく、半導体のアルミ削り出しや重電の厚板溶接、建機の丸棒切削といった、機械設備と職人の技術の双方が求められる「手のかかる案件」です。これらを確実に取り込むため、現場では1台で複数の工程を終わらせる複合加工機や、夜間の無人運転を可能にする自動化システムの導入が急速に進んでおり、下請け市場の勢いを力強く牽引しています。

定番名機が今さらに爆売れ！大日金属工業の「DLシリーズ」

汎用旋盤の操作性とCNCの自動化を融合させた大日金属工業の精密旋盤"DLシリーズ"が、今まさに下請け現場で猛烈に売れ行きを伸ばしています。その人気の理由は、昔ながらの手動ハンドルによる直感的な操作性と、Gコード不要の大日オリジナル対話型ソフトが高次元で融合したハイブリッド構造にあります。これにより、長年汎用機で腕を磨いたベテランが手の感覚を活かして1品モノを手動で削れる一方、プログラムに不慣れな若手でも画面の案内に沿った簡単な入力だけで、即座に高精度な自動加工を行えます。

さらに、最初の1個を手動で削るだけで刃物の動きを機械が記憶する"サイクルリピート機能"も備えており、2個目からはボタン一つで精密な自動複製が可能です。単品の飛び込み修正から数十個の小ロット案件まで、プログラム作成の手間を完全に排除した臨機応変な使い勝手が、人手不足に悩む現在の現場のニーズと完璧に合致しています。



ベッド一体型の高剛性設計や主軸の周速一定制御など、旋盤としての基本性能の重切削に耐える頑丈さは折り紙付きです。汎用機の臨機応変さとNCの生産性を1台で両立し、世代を超えて使い続けられるこの名機は、現在の厳しいモノづくりの現場を支える最強の即戦力です！！

限定1台!!

DL530×150(展示機) 販売中!!

機械、工場内設備に関してご質問等がございましたら、お気軽に当社までお問合せください。

株式会社青空機械
TEL : 070-8303-6632
FAX : 050-3588-8241
E-mail : aoki@bsmt.co.jp

青空機械　検索

また、新規の機械購入以外にも既存設備のアフターメンテンスについてもお手伝いをさせてください。
例)今は存在しないメーカーの機械修理、現在の窓口商社を変えたい等々。
まずはお気軽にご連絡ください！！

青木社長の略歴

1986年6月生まれ(満40歳)
2009年　㈱兼松KGK 入社
2010年
↓　同社新潟営業所勤務
2016年
2016年　日鉄物産マテックス㈱ 入社
2017年
↓　日鉄物産㈱ 米国法人出向
2020年
2021年　ユアサ商事㈱ 入社
↓　同社新潟支店勤務
2024年
2024年　㈱青空機械 設立

発行元：㈱青空機械